

■ 目標値未達成の要因について

| | |
|-----|-------------|
| 法人名 | 公益財団法人大阪産業局 |
|-----|-------------|

〔1〕

| 成果測定指標 | 単位 | R4年度目標値 | R4年度実績値 | 目標値との差 |
|--|----|--|--|-------------|
| 事業利用による支援企業の成果 売上・営業利益・雇用者数の改善 (D) | - | 府内DI値に上乘せする 売上高変化DI23 損益変化DI17 従業員数変化DI16 | 府内DI値に上乘せする 売上高変化DI23 損益変化DI17 従業員数変化DI14 | 従業員数変化DI △2 |

| 未達成の要因 | | | | 要因分析（要因と考える根拠） | | | | | | 要因分析を踏まえた今後の対応 | |
|--------|---------------|----------|----|--|---------|----|-------|----|---|--|--|
| ① | 調査対象者の差異による影響 | | | <p>令和4年度のDI値については、昨年度以降、府内DI値に上乘せすることができる状態を継続できているが、売上高変化DIや損益変化DIは達成となったものの、従業員数変化DIについては未達となった。</p> <p>令和4年平均の労働力調査によれば、全国・大阪ともに全体の就業者数は増加しているが、産業別就業者数を見ると、「製造業」は全国・大阪ともに減少しており、更に、大阪では全国よりも減幅が大きいという状況であった。</p> <p>今回の調査回答者の産業別内訳を見ると、「製造業」は大阪府調査が29.5%であるのに対し、財団調査では36.9%を占めており、下振れの影響をより大きく受けたために、従業員数変化DIの結果がわずかに目標に及ばなかったものとする。</p> | | | | | | <p>当財団の実施する各事業の掲げる目標値は概ね達成できており、事業そのものは順調に成果を上げており、更なる課題解決に向け、継続的に取り組んでいく。</p> <p>なお、本指標については、これまでも様々なご指摘をいただいているため、これらのご意見や今回の結果も踏まえ、財団の支援成果がより適切に表れる目標設定を検討する。</p> | |
| | 関連項目名 | 従業員数変化DI | 単位 | - | R4当初想定値 | 16 | R4実績値 | 14 | 差 | △ 2 | |
| ② | | | | | | | | | | | |
| | 関連項目名 | | 単位 | | R4当初想定値 | | R4実績値 | | 差 | 0 | |
| ③ | | | | | | | | | | | |
| | 関連項目名 | | 単位 | | R4当初想定値 | | R4実績値 | | 差 | 0 | |

■ 目標値未達成の要因について

| | |
|-----|-------------|
| 法人名 | 公益財団法人大阪産業局 |
|-----|-------------|

[2]

| 成果測定指標 | 単位 | R4年度目標値 | R4年度実績値 | 目標値との差 |
|----------|----|---------|---------|--------|
| 事業承継相談件数 | 件 | 460 | 346 | △ 114 |

| 未達成の要因 | | | | 要因分析（要因と考える根拠） | | | | | 要因分析を踏まえた今後の対応 | |
|--------|--------------------|----------|----|---|---------|-----|-------|-----|--|-------|
| ① | 目標設定時に使用した過去実績値の誤り | | | <p>当目標は、国の事業承継支援事業の窓口が大阪商工会議所に一本化されることを受け、従前の目標値に代えて令和4年度に新たに設定したものの、設定にあたっては、事業実施体制も大きく変わる中での新たな指標の設定ということで、明確な積み上げが難しかったことから、過去3か年(R1~R3)の相談件数の平均をベースに、令和4年度に新たに受託する事業分の見込を足して460件として設定した。 (R1 : 267件 + R2 : 264件 + R3 : 540件) ÷ 3 = 357件 + 新規受託分100件 = 457件</p> <p>今回、未達成要因の調査を行ったところ、過去3か年平均のうち、令和3年度分の実績値において、本来「相談者数」を使用すべきところで「相談対応件数(延べ件数)」の数値を誤って使用していたことが分かった。 (R1 : 267件 + R2 : 264件 + R3 : 253件) ÷ 3 = 261件 + 新規受託分100件 = 361件</p> <p>そのため、実態とはかけ離れた目標設定となってしまうため、目標と実績に大幅な差が出ることとなった。</p> <p>※本来目標361件と実績見込値との差については、よろず支援拠点において、事業承継をテーマにしたセミナーをR3には5回開催していましたが、R4は3回のみとなったことが影響したと考えております。</p> | | | | | <p>事業実施体制が大きく変わる中、新たに設定した指標ということで、予測も難しく、また、数値の確認も不十分であったことで、誤りに気付けなかった。今後は、事業担当との連絡も密にするなどにより確実な実績値の把握に努めていく。</p> | |
| | 関連項目名 | 事業承継相談件数 | 単位 | 件 | R4当初想定値 | 460 | R4実績値 | 346 | 差 | △ 114 |
| ② | | | | | | | | | | |
| | 関連項目名 | | 単位 | | R4当初想定値 | | R4実績値 | | 差 | 0 |
| ③ | | | | | | | | | | |
| | 関連項目名 | | 単位 | | R4当初想定値 | | R4実績値 | | 差 | 0 |

■ 目標値未達成の要因について

| | |
|-----|-------------|
| 法人名 | 公益財団法人大阪産業局 |
|-----|-------------|

[3]

| 成果測定指標 | 単位 | R4年度目標値 | R4年度実績値 | 目標値との差 |
|-----------|----|----------|-----------|----------|
| 一般正味財産増減額 | 千円 | △ 24,000 | △ 119,788 | △ 95,788 |

| 未達成の要因 | | | | 要因分析（要因と考える根拠） | | | | 要因分析を踏まえた今後の対応 | | | |
|--------|---------|-------|----|---|---------|---------|-------|----------------|---|---|--|
| ① | 展示場売上の減 | | | 令和4年度はコロナ禍の影響が緩和されることを想定していたが、実際には、第7波が予想を上回る流行となったことなどにより、コロナ禍を理由にした利用キャンセルが40件近く発生する状況となった。 また、令和3年度に約半年間にわたりワクチン接種会場としての使用があったことで、その期間にご利用予定であった主催者が他会場へ移動されたまま戻らないケースなどの状況が発生したため、当初想定の上り上げには満たなかった。 | | | | | | → | コロナ禍前の水準を目指し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した中規模展示会に対する積極的な営業や、閑散期の利用促進などに取り組んでいく。 |
| | 関連項目名 | 展示場売上 | 単位 | 千円 | R4当初想定値 | 570,000 | R4実績値 | 429,509 | 差 | | |
| ② | | | | | | | | | | → | |
| | 関連項目名 | | 単位 | | R4当初想定値 | | R4実績値 | | 差 | | |
| ③ | | | | | | | | | | → | |
| | 関連項目名 | | 単位 | | R4当初想定値 | | R4実績値 | | 差 | | |